

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年5月12日

【四半期会計期間】 第64期第1四半期(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

【会社名】 山崎製パン株式会社

【英訳名】 YAMAZAKI BAKING CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 飯島延浩

【本店の所在の場所】 東京都千代田区岩本町三丁目10番1号

【電話番号】 03(3864)3111(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 横濱通雄

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区岩本町三丁目10番1号

【電話番号】 03(3864)3178

【事務連絡者氏名】 常務取締役 横濱通雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第64期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第63期
会計期間	自 平成22年 1月1日 至 平成22年 3月31日	自 平成23年 1月1日 至 平成23年 3月31日	自 平成22年 1月1日 至 平成22年 12月31日
売上高 (百万円)	222,589	225,889	928,242
経常利益 (百万円)	8,534	5,813	27,559
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (百万円)	3,684	382	12,724
純資産額 (百万円)	239,325	242,989	247,135
総資産額 (百万円)	600,984	615,866	638,348
1株当たり純資産額 (円)	1,003.48	1,017.27	1,036.70
1株当たり四半期 (当期)純利益 又は四半期純損失() (円)	16.77	1.74	57.93
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	36.69	36.27	35.67
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	20,572	22,034	59,394
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	8,299	13,733	30,526
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	15,010	9,706	8,640
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	52,412	74,245	75,296
従業員数 (人)	23,195	23,652	23,634

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第63期第1四半期連結累計(会計)期間及び第63期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第64期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式も存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において重要な関係会社の異動はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において不二家（杭州）食品有限公司が新たに連結子会社となりました。

名称	住所	資本金 (百万人民元)	主要な事業 の内容	議決権の所有(又 は被所有)割合 (%)	関係内容
(連結子会社) 不二家（杭州）食品有限公司	中国浙江省杭州市	32	食品事業	71.7 (71.7)	

(注) 1 主要な事業の内容欄には、セグメント情報の名称を記載しております。

2 議決権の所有割合の()内は間接所有割合で内数であります。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年3月31日現在

従業員数(人)	23,652 [24,395]
---------	-------------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は[]内に当第1四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成23年3月31日現在

従業員数(人)	15,981 [10,350]
---------	-------------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は[]内に当第1四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
食品事業	182,646	100.9
合計	182,646	100.9

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しており、前第1四半期連結会計期間の金額を同基準に準拠して算出し、前年同四半期比としております。

(2) 受注実績

当社グループの食品事業における製品は特に鮮度が重要視されますので、取引先からの日々の注文により生産しておりますが、納入時間の関係上受注締切以前に見込数で生産を開始し、最終的に生産数量の調整を行う受注方式であり、翌日繰越受注残はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
食品事業	食パン	23,334	102.3
	菓子パン	78,502	102.5
	和菓子	16,685	99.5
	洋菓子	28,732	96.6
	調理パン・米飯類	24,024	106.3
	製菓・米菓・その他商品類	37,453	98.7
	食品事業計	208,732	101.1
流通事業		15,496	107.6
その他事業		1,659	96.6
合計		225,889	101.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しており、前第1四半期連結会計期間の金額を同基準に準拠して算出し、前年同四半期比としております。

(参考)

連結子会社の㈱不二家グループに係る前第1四半期連結累計期間は平成21年10月1日～平成21年12月31日の実績となりますが、前期に3月期から12月期に決算期を変更したこともあり、実質的な前年同期である平成22年1月1日～平成22年3月31日との前年同四半期比を参考として記載しております。

セグメントの名称	区分	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
食品事業	食パン	23,334	102.3
	菓子パン	78,502	102.5
	和菓子	16,685	99.5
	洋菓子	28,732	99.8
	調理パン・米飯類	24,024	106.3
	製菓・米菓・その他商品類	37,453	103.8
	食品事業計	208,732	102.5
流通事業		15,496	107.6
その他事業		1,659	96.6
	合計	225,889	102.8

2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日（平成23年5月12日）現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気の踊り場を抜け出し、年初より緩やかに回復しておりましたが、3月11日に発生した東日本大震災の地震と津波により東北、関東地域の生産拠点が被害を受け多くの企業が操業を停止するなど、経済活動に大きな影響が及びました。

当業界におきましては、パン類の消費は回復傾向で推移しておりましたが、お客様の根強い節約志向のもとで販売競争が一段と激化するとともに、糖類、卵など原料価格の高騰によって収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

東日本大震災発生当日、政府並びに地方自治体から当社に対し緊急食糧供給の要請があり、当社の仙台工場は大きな被害を受け生産はできませんでしたが、関東諸工場、関西諸工場を総動員して宮城県を中心に被災地への緊急食糧の供給にあたりました。また、大震災の地震と津波により、東北、関東における原材料メーカーが大きな被害を受け、特に油脂原料、包装資材の供給に支障が生じ、一部製品の生産中止をせざるを得ませんでした。また、仙台工場の被災による操業停止、関東地区の計画停電による減産とロスの発生は、収益面で大きな負担となりました。このような情勢に対処するため、調達可能な原材料を用いて品種数を大幅に絞った生産体制に移行して業績の確保につとめるとともに、被災地への緊急食糧の供給をいたしました。このような状況に鑑み、当社は、実施しておりました消費者キャンペーン、ヤマザキ「春のパンまつり」を3月18日をもって一旦休止しました。

東日本大震災の被害につきましては、東北地域における主力の仙台工場の建屋及び機械装置の一部が損傷し、停電・断水となり、全ての生産ラインが停止しました。懸命の復旧作業と電気・水道等インフラの回復により、3月23日より主力ラインの操業を再開し、4月4日には全てのラインが稼働いたしました。十和田工場及び関東地域の各工場につきましては、地震発生当日、生産ラインが停止しましたが、工場設備に大きな損害はなく、早期に復旧することができました。

調理パン・米飯類事業の子会社である㈱サンデリカは、仙台第一事業所の建物が損傷して操業停止となり、現在、5月上旬の再稼働を目標に復旧作業に取り組んでおります。㈱サンデリカは、北陸事業所を中心に、おにぎりの集中生産を行い、緊急食糧として被災地に供給しました。㈱デイリーヤマザキでは、店舗の浸水、設備・什器等の破損に加え、停電・断水や物流・通信の途絶もあり、仙台エリアを中心に多数の店舗が一時休止しましたが、物流機能の回復につとめ、ライフラインの復旧に伴い順次営業を再開しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は2,258億89百万円（対前年同期比101.5%）で、販売単価の下落を数量増でカバーして売上増を達成いたしました。原材料費や物流費の増加もあり、営業利益は58億86百万円（対前年同期比70.2%）、経常利益は58億13百万円（対前年同期比68.1%）となりました。また、会計処理基準の変更に伴う資産除去債務過年度分を特別損失に計上したことに加え、製品、原材料の廃棄損や仙台工場の復旧費用など震災関連費用を特別損失に計上したことにより、3億82百万円の四半期純損失（前年同期は36億84百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

当社グループの前連結会計年度の第1四半期は不二家グループの平成21年10月1日から平成21年12月31日までの連結業績を組み入れておりましたが、不二家グループの決算期変更に伴い、当第1四半期は不二家グループの平成23年1月1日から平成23年3月31日までの連結業績を組み入れております。セグメント別の状況中、売上高の前年同期比較につきましては、不二家グループの平成22年1月1日から平成22年3月31日までの連結業績に組み換えて比較しております。

< 食品事業 >

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

食パン部門（売上高233億34百万円、対前年同期比102.3%）

食パンは、前期にリニューアルした「芳醇」や期間限定品を発売した「ふんわり食パン」が伸長し、食パンの売上を牽引しました。大震災後は、原材料の逼迫により品種数が制限されたこともあり、食糧を求めお客様により食パンの需要が急増しましたので、主力製品の集中生産を実施し、生産の拡大に努めました。

菓子パン部門（売上高785億2百万円、対前年同期比102.5%）

菓子パンは、ヤマザキ菓子パン、「ナイススティック」、「まるごとソーセージ」など定番製品や「スイートブル」などの手作り感のある菓子パンが伸長しました。大震災後は、緊急食糧の製造を優先させる必要もあり、品種数を集約して生産効率の向上に努めました。

和菓子部門（売上高166億85百万円、対前年同期比99.5%）

和菓子は、コンビニエンスストア向け加温販売の中華まんが低調でしたが、「北海道チーズ蒸しケーキ」など主力品の取引拡大により蒸しパンの売上が伸長しました。

洋菓子部門（売上高287億32百万円、対前年同期比99.8%）

洋菓子は、量販店向けの2個入り生ケーキや「イチゴスペシャル」などのスナックケーキが伸長しましたが、大震災による洋菓子店の休業や営業時間の短縮が影響し売上は前年同期を若干下回りました。

調理パン・米飯類部門（売上高240億24百万円、対前年同期比106.3%）

調理パン・米飯類は、関西地区におけるコンビニエンスストア向け弁当、おにぎりの取引が大幅に拡大し、売上が大きく伸長しました。

製菓・米菓・その他商品類部門（売上高374億53百万円、対前年同期比103.8％）

製菓・米菓・その他商品類は、㈱不二家の「カントリーマアム」やヤマザキ・ナビスコ㈱の「リッツ」、㈱東ハトの「キャラメルコーン」などブランド力のある製品が伸長しました。

以上の結果、食品事業の売上高は、2,087億32百万円（対前年同期比102.5％）、営業利益は60億11百万円（対前年同期比72.1％）となりました。

< 流通事業 >

㈱デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、たばこの値上げに伴う客単価の上昇や大震災に伴う需要の急増により、営業総収入は154億96百万円（対前年同期比107.6％）となりました。収益面では、POSレジスター刷新に伴うリース料の増加や会計処理基準の変更による資産除去債務費用の増加もあり、営業損失は6億47百万円（前年同期は4億44百万円の営業損失）となりました。

< その他事業 >

その他事業につきましては、売上高は16億59百万円（対前年同期比96.6％）、営業利益は3億10百万円（対前年同期比96.2％）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は6,158億66百万円で、前連結会計年度末に対して224億81百万円減少しました。これは主に流動資産で金融機関の休日による入金へのズレ等で受取手形及び売掛金が162億53百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は3,728億76百万円で、前連結会計年度末に対して支払手形及び買掛金の減少や借入金の返済等により183億36百万円減少しました。純資産は2,429億89百万円で、前連結会計年度末に対して利益剰余金の減少等により、41億45百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は36.27％、1株当たり純資産は1,017円27銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益20億29百万円に加え、減価償却費93億31百万円、売上債権の減少額165億21百万円などにより220億34百万円のプラスとなり、前年同期に対しては14億62百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより137億33百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては投資額の増加により54億33百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより97億6百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては借入金返済額の減少などにより53億4百万円支出が減少しました。

これらに、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額3億61百万円を加えて、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は742億45百万円となり、前連結会計年度末に対して10億50百万円の減少となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間の研究開発費の総額は14億62百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

国内子会社

当第1四半期連結会計期間に以下の設備を取得いたしました。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)						従業員数 (名)
				建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	工具器具 及び備品	土地 (面積㎡)	リース 資産	合計	
(株)サンデリカ	讃岐事業所 (香川県仲多度郡 まんのう町)	食品事業	調理パン、米飯 等生産設備	188	43	1	89 (8,334)	2	326	318

(注) 本明細は、消費税等を除いて表示しております。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画中であった重要な設備の新設等のうち、完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資額 (百万円)	着手年月	完了年月	完成後の 増強能力
提出会社	名古屋工場 (名古屋市西区)	食品事業	VEMパン 生産設備	293	平成23年1月	平成23年2月	生産能力 280百万円/月 (80百万円/月増)
	京都工場 (京都府宇治市)	食品事業	ハードロール 生産設備	232	平成23年2月	平成23年3月	生産能力 138百万円/月 (33百万円/月増)

(注) 本明細は、消費税等を除いて表示しております。

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	800,000,000
計	800,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年5月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	220,282,860	220,282,860	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	220,282,860	220,282,860		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年3月31日		220,282		11,014		9,664

(6) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、株式会社みずほコーポレート銀行及びその共同保有者であるみずほ信託銀行株式会社から平成23年3月23日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書（変更報告書）の写しの送付があり、平成23年3月15日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第1四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
株式会社みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内 1 - 3 - 3	3,946	1.79
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲 1 - 2 - 1	9,758	4.43

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成22年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 674,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 218,494,000	218,494	同上
単元未満株式	普通株式 1,114,860		同上
発行済株式総数	220,282,860		
総株主の議決権		218,494	

(注) 1 「単元未満株式」欄には、自己株式821株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、1,000株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成22年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 山崎製パン株式会社	東京都千代田区岩本町 3 - 10 - 1	674,000		674,000	0.30
計		674,000		674,000	0.30

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 1月	2月	3月
最高(円)	987	1,012	1,008
最低(円)	961	930	831

(注) 最高・最低株価は東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の様動はありませ
ん。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、日栄監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1 75,816	1 77,200
受取手形及び売掛金	75,627	3 91,880
商品及び製品	8,745	10,129
仕掛品	677	619
原材料及び貯蔵品	7,925	7,874
繰延税金資産	3,229	3,609
その他	11,450	13,774
貸倒引当金	885	762
流動資産合計	182,587	204,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1 321,253	1 318,509
減価償却累計額	231,775	229,161
建物及び構築物(純額)	89,478	89,348
機械装置及び運搬具	1 411,649	1 409,635
減価償却累計額	338,292	335,162
機械装置及び運搬具(純額)	73,357	74,472
工具、器具及び備品	26,656	26,572
減価償却累計額	22,885	22,742
工具、器具及び備品(純額)	3,770	3,830
土地	1 111,746	1 111,682
リース資産	22,853	21,380
減価償却累計額	6,422	4,798
リース資産(純額)	16,430	16,582
建設仮勘定	1,478	795
有形固定資産合計	296,260	296,710
無形固定資産		
のれん	18,776	19,076
その他	14,541	13,912
無形固定資産合計	33,318	32,989
投資その他の資産		
投資有価証券	1 39,731	1 40,872
長期貸付金	1,518	1,543
繰延税金資産	26,049	24,938
その他	1 40,082	1 40,683
貸倒引当金	3,681	3,715
投資その他の資産合計	103,699	104,322
固定資産合計	433,278	434,022
資産合計	615,866	638,348

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,373	3 73,564
短期借入金	1 62,038	1 62,246
リース債務	4,048	3,963
1年内償還予定の社債	1,234	1,234
未払法人税等	3,185	7,918
未払費用	28,955	32,402
賞与引当金	10,525	3,241
販売促進引当金	952	984
店舗閉鎖損失引当金	31	36
資産除去債務	12	-
その他	25,338	3 33,876
流動負債合計	202,696	219,468
固定負債		
社債	5,655	6,167
長期借入金	1 53,653	1 58,676
リース債務	12,473	13,148
退職給付引当金	80,034	79,156
役員退職慰労引当金	3,182	3,047
債務保証損失引当金	1,377	1,406
資産除去債務	3,698	28
その他	10,104	10,112
固定負債合計	170,179	171,744
負債合計	372,876	391,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,675	9,675
利益剰余金	197,130	200,562
自己株式	678	673
株主資本合計	217,141	220,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,654	7,391
繰延ヘッジ損益	1	7
為替換算調整勘定	399	294
評価・換算差額等合計	6,253	7,089
少数株主持分	19,594	19,466
純資産合計	242,989	247,135
負債純資産合計	615,866	638,348

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	222,589	225,889
売上原価	137,896	142,739
売上総利益	84,692	83,150
販売費及び一般管理費	1 76,311	1 77,263
営業利益	8,381	5,886
営業外収益		
受取利息	26	21
受取配当金	75	72
固定資産賃貸料	134	137
為替差益	40	74
持分法による投資利益	318	43
雑収入	326	228
営業外収益合計	922	577
営業外費用		
支払利息	618	566
雑損失	150	83
営業外費用合計	769	649
経常利益	8,534	5,813
特別利益		
固定資産売却益	1	1
店舗閉鎖損失引当金戻入額	45	-
債務保証損失引当金戻入額	24	29
その他	0	1
特別利益合計	70	31
特別損失		
固定資産除売却損	289	438
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,749
震災関連費用	-	1,067
減損損失	-	239
投資有価証券評価損	-	117
退職給付引当金繰入額	920	-
役員退職慰労引当金繰入額	45	68
店舗閉鎖損失	75	67
その他	-	68
特別損失合計	1,331	3,816
税金等調整前四半期純利益	7,273	2,029
法人税、住民税及び事業税	3,287	2,807
法人税等調整額	596	429
法人税等合計	2,690	2,378
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	348
少数株主利益	897	33
四半期純利益又は四半期純損失()	3,684	382

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,273	2,029
減価償却費	9,211	9,331
減損損失	-	239
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,749
震災関連費用	-	1,067
のれん償却額	300	300
貸倒引当金の増減額（は減少）	10	88
賞与引当金の増減額（は減少）	6,866	7,283
退職給付引当金の増減額（は減少）	1,540	878
受取利息及び受取配当金	102	93
支払利息	618	566
持分法による投資損益（は益）	318	43
固定資産除売却損益（は益）	288	437
投資有価証券評価損益（は益）	-	117
売上債権の増減額（は増加）	8,878	16,521
たな卸資産の増減額（は増加）	255	1,395
仕入債務の増減額（は減少）	3,748	7,788
未払消費税等の増減額（は減少）	667	665
その他	6,604	2,947
小計	25,138	30,467
利息及び配当金の受取額	105	95
利息の支払額	729	648
法人税等の支払額	3,942	7,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,572	22,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（は増加）	1,171	334
有形固定資産の取得による支出	7,243	11,177
有形固定資産の売却による収入	32	42
無形固定資産の取得による支出	481	1,446
投資有価証券の取得による支出	21	361
貸付けによる支出	1	1
貸付金の回収による収入	42	29
その他	544	1,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,299	13,733

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	316	23
長期借入れによる収入	80	700
長期借入金の返済による支出	10,675	5,954
社債の償還による支出	545	512
リース債務の返済による支出	770	991
自己株式の取得による支出	6	4
配当金の支払額	2,712	2,902
少数株主への配当金の支払額	64	64
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,010	9,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	7
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,709	1,412
現金及び現金同等物の期首残高	52,917	75,296
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,204	361
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,412	74,245

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 不二家(杭州)食品有限公司は、重要性が増加したため、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 27社
2. 会計処理基準に関する事項の変更	(1) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。 (2) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、営業利益、経常利益は60百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は1,810百万円減少しております。

【表示方法の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失()」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)	法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
重要な該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)																																																																																																										
<p>1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">預金</td> <td style="width: 50%;">10百万円(- 百万円)</td> </tr> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td>5,487 " (1,406 ")</td> </tr> <tr> <td>機械及び装置</td> <td>38 " (38 ")</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>4,933 " (2,665 ")</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>530 " (- ")</td> </tr> <tr> <td>投資その他の資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>384 " (- ")</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(貸貸固定資産)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,385 " (4,111 ")</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">短期借入金</td> <td style="width: 50%;">5,317百万円(2,108百万円)</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>2,257 " (1,071 ")</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,575 " (3,180 ")</td> </tr> </table> <p>上記のうち()内書は工場財団抵当並びに当該債務を示しております。</p> <p>2 債務保証 連結子会社以外の会社、加盟店等に対して下記の債務保証をしております。</p> <p>(1) 関係会社</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(株)サンロイヤル旭川 銀行借入金</td> <td style="width: 50%;">950百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)スーパーヤマザキ 銀行借入金他</td> <td>138 "</td> </tr> <tr> <td>サンリーフファーム(株) 銀行借入金</td> <td>133 "</td> </tr> <tr> <td>(株)盛岡デリカ</td> <td>" 50 "</td> </tr> <tr> <td>(株)金沢ジャーマン</td> <td>" 45 "</td> </tr> <tr> <td>ベーカリー</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>(株)ユトリア不二家</td> <td>" 31 "</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,348 "</td> </tr> </table> <p>(2) その他</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">加盟店 店舗設備賃借料</td> <td style="width: 50%;">47百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)ジェフグルメカード 営業債務</td> <td>30 "</td> </tr> <tr> <td>高知県食品工業団地協同組合 借入金</td> <td>20 "</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97 "</td> </tr> <tr> <td>債務保証高合計</td> <td>1,446百万円</td> </tr> </table>	預金	10百万円(- 百万円)	建物及び構築物	5,487 " (1,406 ")	機械及び装置	38 " (38 ")	土地	4,933 " (2,665 ")	投資有価証券	530 " (- ")	投資その他の資産		その他	384 " (- ")	(貸貸固定資産)		合計	11,385 " (4,111 ")	短期借入金	5,317百万円(2,108百万円)	長期借入金	2,257 " (1,071 ")	合計	7,575 " (3,180 ")	(株)サンロイヤル旭川 銀行借入金	950百万円	(株)スーパーヤマザキ 銀行借入金他	138 "	サンリーフファーム(株) 銀行借入金	133 "	(株)盛岡デリカ	" 50 "	(株)金沢ジャーマン	" 45 "	ベーカリー	"	(株)ユトリア不二家	" 31 "	合計	1,348 "	加盟店 店舗設備賃借料	47百万円	(株)ジェフグルメカード 営業債務	30 "	高知県食品工業団地協同組合 借入金	20 "	合計	97 "	債務保証高合計	1,446百万円	<p>1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">預金</td> <td style="width: 50%;">10百万円(- 百万円)</td> </tr> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td>5,554 " (1,404 ")</td> </tr> <tr> <td>機械及び装置</td> <td>43 " (43 ")</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>4,933 " (2,665 ")</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>527 " (- ")</td> </tr> <tr> <td>投資その他の資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>385 " (- ")</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(貸貸固定資産)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,454 " (4,112 ")</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">短期借入金</td> <td style="width: 50%;">5,611百万円(2,162百万円)</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>2,355 " (1,027 ")</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,966 " (3,189 ")</td> </tr> </table> <p>上記のうち()内書は工場財団抵当並びに当該債務を示しております。</p> <p>2 債務保証 連結子会社以外の会社、加盟店等に対して下記の債務保証をしております。</p> <p>(1) 関係会社</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(株)サンロイヤル旭川 銀行借入金</td> <td style="width: 50%;">950百万円</td> </tr> <tr> <td>サンリーフファーム(株)</td> <td>" 133 "</td> </tr> <tr> <td>(株)スーパーヤマザキ 銀行借入金他</td> <td>118 "</td> </tr> <tr> <td>(株)金沢ジャーマン 銀行借入金</td> <td>50 "</td> </tr> <tr> <td>ベーカリー</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>(株)盛岡デリカ</td> <td>" 50 "</td> </tr> <tr> <td>(株)ユトリア不二家</td> <td>" 37 "</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,339 "</td> </tr> </table> <p>(2) その他</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">加盟店 店舗設備賃借料</td> <td style="width: 50%;">54百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)ジェフグルメカード 営業債務</td> <td>30 "</td> </tr> <tr> <td>高知県食品工業団地協同組合 借入金</td> <td>20 "</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>104 "</td> </tr> <tr> <td>債務保証高合計</td> <td>1,443百万円</td> </tr> </table> <p>3 連結期末日満期手形の会計処理 連結期末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。したがって、当連結期末日は金融機関が休日のため次のとおり連結期末日満期手形が期末残高に含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">受取手形</td> <td style="width: 50%;">35百万円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td>285 "</td> </tr> <tr> <td>流動負債その他 (設備関係支払手形)</td> <td>134 "</td> </tr> </table>	預金	10百万円(- 百万円)	建物及び構築物	5,554 " (1,404 ")	機械及び装置	43 " (43 ")	土地	4,933 " (2,665 ")	投資有価証券	527 " (- ")	投資その他の資産		その他	385 " (- ")	(貸貸固定資産)		合計	11,454 " (4,112 ")	短期借入金	5,611百万円(2,162百万円)	長期借入金	2,355 " (1,027 ")	合計	7,966 " (3,189 ")	(株)サンロイヤル旭川 銀行借入金	950百万円	サンリーフファーム(株)	" 133 "	(株)スーパーヤマザキ 銀行借入金他	118 "	(株)金沢ジャーマン 銀行借入金	50 "	ベーカリー	"	(株)盛岡デリカ	" 50 "	(株)ユトリア不二家	" 37 "	合計	1,339 "	加盟店 店舗設備賃借料	54百万円	(株)ジェフグルメカード 営業債務	30 "	高知県食品工業団地協同組合 借入金	20 "	合計	104 "	債務保証高合計	1,443百万円	受取手形	35百万円	支払手形	285 "	流動負債その他 (設備関係支払手形)	134 "
預金	10百万円(- 百万円)																																																																																																										
建物及び構築物	5,487 " (1,406 ")																																																																																																										
機械及び装置	38 " (38 ")																																																																																																										
土地	4,933 " (2,665 ")																																																																																																										
投資有価証券	530 " (- ")																																																																																																										
投資その他の資産																																																																																																											
その他	384 " (- ")																																																																																																										
(貸貸固定資産)																																																																																																											
合計	11,385 " (4,111 ")																																																																																																										
短期借入金	5,317百万円(2,108百万円)																																																																																																										
長期借入金	2,257 " (1,071 ")																																																																																																										
合計	7,575 " (3,180 ")																																																																																																										
(株)サンロイヤル旭川 銀行借入金	950百万円																																																																																																										
(株)スーパーヤマザキ 銀行借入金他	138 "																																																																																																										
サンリーフファーム(株) 銀行借入金	133 "																																																																																																										
(株)盛岡デリカ	" 50 "																																																																																																										
(株)金沢ジャーマン	" 45 "																																																																																																										
ベーカリー	"																																																																																																										
(株)ユトリア不二家	" 31 "																																																																																																										
合計	1,348 "																																																																																																										
加盟店 店舗設備賃借料	47百万円																																																																																																										
(株)ジェフグルメカード 営業債務	30 "																																																																																																										
高知県食品工業団地協同組合 借入金	20 "																																																																																																										
合計	97 "																																																																																																										
債務保証高合計	1,446百万円																																																																																																										
預金	10百万円(- 百万円)																																																																																																										
建物及び構築物	5,554 " (1,404 ")																																																																																																										
機械及び装置	43 " (43 ")																																																																																																										
土地	4,933 " (2,665 ")																																																																																																										
投資有価証券	527 " (- ")																																																																																																										
投資その他の資産																																																																																																											
その他	385 " (- ")																																																																																																										
(貸貸固定資産)																																																																																																											
合計	11,454 " (4,112 ")																																																																																																										
短期借入金	5,611百万円(2,162百万円)																																																																																																										
長期借入金	2,355 " (1,027 ")																																																																																																										
合計	7,966 " (3,189 ")																																																																																																										
(株)サンロイヤル旭川 銀行借入金	950百万円																																																																																																										
サンリーフファーム(株)	" 133 "																																																																																																										
(株)スーパーヤマザキ 銀行借入金他	118 "																																																																																																										
(株)金沢ジャーマン 銀行借入金	50 "																																																																																																										
ベーカリー	"																																																																																																										
(株)盛岡デリカ	" 50 "																																																																																																										
(株)ユトリア不二家	" 37 "																																																																																																										
合計	1,339 "																																																																																																										
加盟店 店舗設備賃借料	54百万円																																																																																																										
(株)ジェフグルメカード 営業債務	30 "																																																																																																										
高知県食品工業団地協同組合 借入金	20 "																																																																																																										
合計	104 "																																																																																																										
債務保証高合計	1,443百万円																																																																																																										
受取手形	35百万円																																																																																																										
支払手形	285 "																																																																																																										
流動負債その他 (設備関係支払手形)	134 "																																																																																																										

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 12,177百万円	広告宣伝費 11,749百万円
発送及び配達費 10,937 "	発送及び配達費 11,484 "
給料及び諸手当 21,568 "	給料及び諸手当 21,770 "
貸倒引当金繰入額 21 "	貸倒引当金繰入額 73 "
賞与引当金繰入額 4,308 "	賞与引当金繰入額 4,284 "
退職給付費用 1,709 "	退職給付費用 1,705 "
福利厚生費 3,536 "	福利厚生費 3,804 "
減価償却費 3,389 "	減価償却費 3,623 "
賃借料 6,739 "	賃借料 6,657 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 55,573百万円	現金及び預金勘定 75,816百万円
預金期間が3ヶ月超の定期預金 3,161 "	預金期間が3ヶ月超の定期預金 1,570 "
現金及び現金同等物 52,412百万円	現金及び現金同等物 74,245百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成23年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	220,282,860

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	679,618

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月30日 定時株主総会	普通株式	3,294	15	平成22年12月31日	平成23年3月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	食品 (百万円)	流通 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	206,465	14,406	1,717	222,589	-	222,589
(2) セグメント間の内部 売上高	1,368	984	5,629	7,982	(7,982)	-
計	207,834	15,390	7,347	230,571	(7,982)	222,589
営業利益又は営業損失()	8,341	444	322	8,219	161	8,381

(注) 事業区分の方法

(1) 事業区分の方法は、製品の種類、販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

(2) 各事業区分の主要製品

食品：食パン、菓子パン、和菓子、洋菓子、調理パン・米飯類、製菓・米菓・その他商品類

流通：コンビニエンスストア事業

その他：食品製造設備の設計、監理および工事の請負、損害保険代理業、事務受託業務及びアウトソーシング受託、物流事業、食品製造機械器具の洗浄剤の製造及び販売

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の開示を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び当社の連結子会社単位を基礎とした事業セグメントに分かれており、主に「食品事業」、「流通事業」及び「その他事業」により構成されているため、この3つを報告セグメントとしております。

「食品事業」は主にパン、和・洋菓子、調理パン・米飯類、製菓・米菓等の製造販売を行っており、「流通事業」はコンビニエンスストア事業を行っております。また、「その他事業」は物流事業、食品製造設備の設計、監理及び工事の請負、事務受託業務及びアウトソーシング受託、損害保険代理業、食品製造機械器具の洗浄剤の製造販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	208,732	15,496	1,659	225,889	-	225,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,533	1,298	6,268	9,100	9,100	-
計	210,266	16,794	7,928	234,989	9,100	225,889
セグメント利益又は損失()	6,011	647	310	5,675	211	5,886

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額211百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

資産除去債務の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

なお、当社は、賃貸借契約に基づき使用する一部の事務所等について、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来退去する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができません。そのため、当該資産に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(1株当たり情報)

当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 1,017.27円	1株当たり純資産額 1,036.70円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	242,989	247,135
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	223,395	227,668
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る期末の純資産額との差額の主な内訳(百万円)		
少数株主持分	19,594	19,466
普通株式の発行済株式数(千株)	220,282	220,282
普通株式の自己株式数(千株)	679	674
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	219,603	219,608

2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額 16.77円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 1.74円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失() (百万円)	3,684	382
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失() (百万円)	3,684	382
普通株式の期中平均株式数(千株)	219,729	219,605

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年5月13日

山崎製パン株式会社
取締役会 御中

日 栄 監 査 法 人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 山 田 浩 一
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 國 井 隆
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている山崎製パン株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、山崎製パン株式会社及び連結子会社の平成22年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 5月12日

山崎製パン株式会社
取締役会 御中

日 栄 監 査 法 人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 山 田 浩 一
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 國 井 隆
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている山崎製パン株式会社の平成23年1月1日から平成23年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、山崎製パン株式会社及び連結子会社の平成23年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。